

# しちがはま

## 議会だより

No. 141

令和元年11月15日  
宮城県七ヶ浜町議会

海の子・山の子  
「山のつどい」in朝日町

<b>特集</b>	平成30年度決算 町政施行60周年記念事業を実施	2
<b>議案</b>	留守家庭児童保育館が指定管理に など	10
	通学路と町全体の交通安全対策は など8人が一般質問	15
	議会報告・懇談会の開催について	25



平成30年度  
一般会計  
決算

# 町政施行60周年記念事業を実施

9月  
定例会



ラジオ体操・みんなの体操会（734人参加）



記念式典をにぎやかに開催

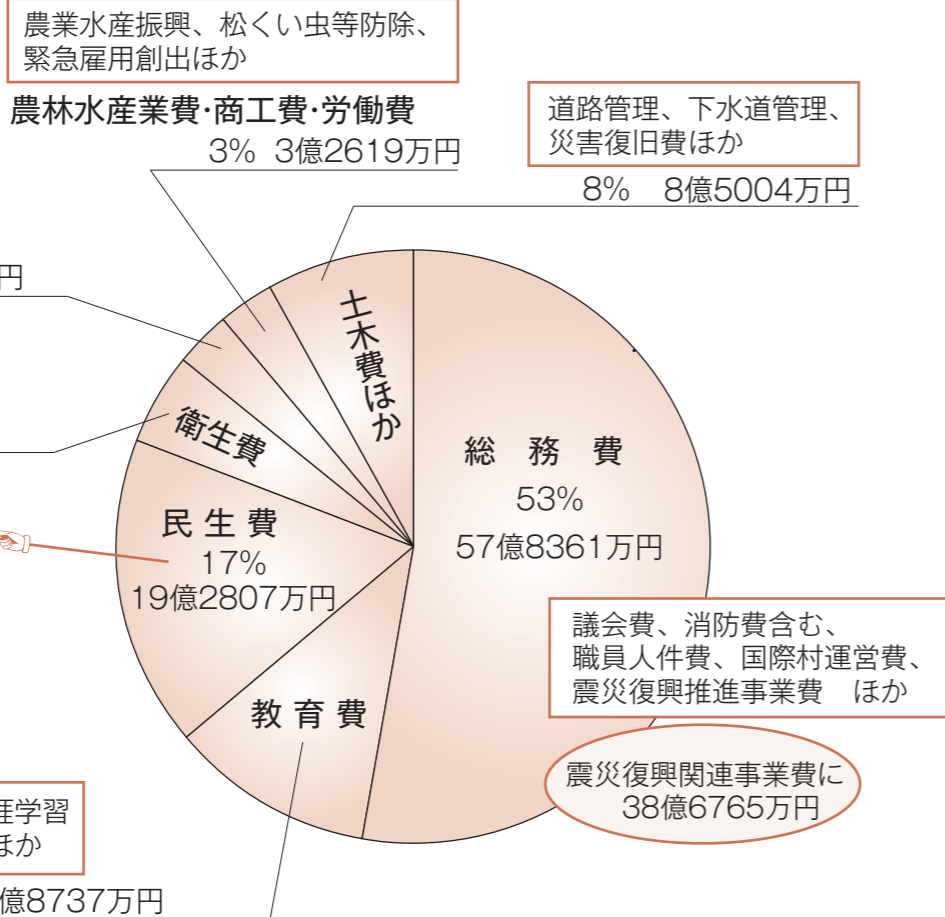
残ったお金 6億5361万円

令和元年度の特定事業へ 1億8674万円

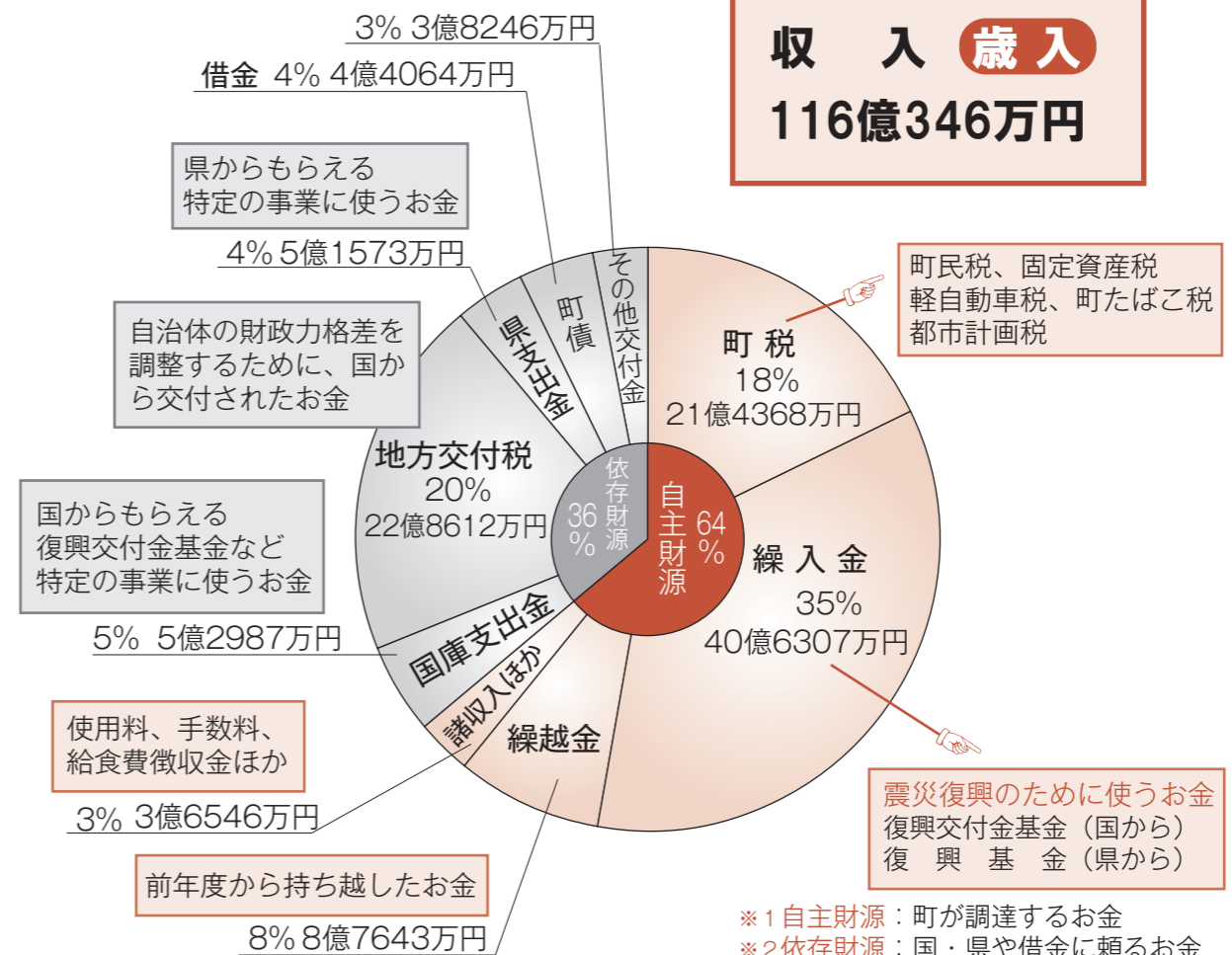
令和元年度に繰り越し 4億6687万円

金額は合計に合わせて千の位で四捨五入しています。

支出 歳出  
109億4985万円



収入 歳入  
116億346万円



9月定例会を9月26日から10月9日までの会期で開催しました。人事案件や条例改正、令和元年度補正予算など27件の議案を審議し、いずれも原案の通り可決しました。また、一般質問は8人が町の考えをいただきました。平成30年度各種会計の決算審査は、特別委員会を設置して審議しました。審議内容は4〜7ページをご覧ください。

※1 自主財源：町が調達するお金  
※2 依存財源：国・県や借入に頼るお金



# 決算 審査

平成30年度の各種会計決算審査は、特別委員会を設置して9月30日から10月4日までの日程で行いました。  
担当課ごとに説明を受けたあと、質疑・応答により慎重に審査しました。  
その後、討論・採決の結果、全会計の決算を認定しました。  
主な内容を要約してお知らせします。



安倍 敏彦  
副委員長



遠藤 久和  
委員長

## どのように使ったのか 各課審査で質疑応答

### 都市公園の維持管理

**問** 公園の除草計画は、建設課長 計画的に、発芽抑制剤を散布している。



除草中の表浜緑地

### 町道樹木剪定伐採 業務委託事業

**問** 松ヶ浜謡地区の北側と湊浜2丁目西側の高木は、防災上の安全を含め、良好な状況にあるのか。また、地域住民からの要望として高過ぎる剪定できないという声もある。本町の認識は。

**答** 建設課長 平成30年度は地区住民や区長からの要望は出ていない。湊浜の高木は区長と相談して今後の検討をしていきたい。

### 地域見守り事業

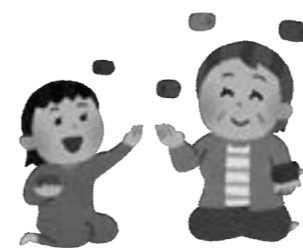
**問** 避難行動要支援者名簿のプライバシーは守られるのか。  
**答** 地域福祉課長 情報が漏洩することはない。



個人情報の研修を受けました

### 託児サポート事業

**問** 利用料金の内訳は。  
**答** 地域福祉課長 平日午前7時から午後7時まで、1時間600円。平日午後7時から午後9時まで、1時間700円。土曜、日曜、祝日午前7時から午後9時まで、1時間700円である。



### 6次化の推進

**問** なまこの生産から販売に至るまでの期間はどのくらいを見込んでいるのか。  
**答** 産業課長 稚なまこから出荷するまで約3年である。最大20センチくらいまで成長する。



成長したなまこ

### 松くい虫の除去計画

**問** 平成30年度での今後の計画的な対策は。  
**答** 副町長 計画そのものは持つていない。松くい虫の被害が収束すればその時点で終わりである。



樹幹注入して松枯れ防止

### 避難誘導標識

**問** 津波避難誘導標識の地図の方位が実際の地理に対し反転している箇所がある。修正する必要があるのではないか。  
**答** 副町長 設置した標識が利用に値しないということであれば問題である。今後、必要であれば差し替え等を行う。



方向の違うマップ

### ドライブレコーダー 貸出事業

**問** 老人クラブを通して高齢者へ貸し出しをしたようだが、貸し出し件数は。  
**答** 交通防災係長 5名の方にモニターとなっていた。

### 観光交流センター

**問** 花洲浜観光交流センターの利用人数と活用状況は。  
**答** 産業課長 昨年12月にオープンして今年9月末までで利用人数は1万1600人である。観光案内所として活用している。また、施設内では観光協会が海の生物に自由に触れられる小さいタッチプールを設けたり、本町のアピールビデオを上映している。



本町の魅力をアピール



大人気のタッチプール (6月から9月頃まで)

### イングリッシュ フリータイム

**問** 町内4つの私立幼稚園や保育園および遠山保育所に毎月2回の国際交流員を派遣しているが、教育に特化しているALTを派遣する考えはなかったのか。  
**答** 国際村事務局長 英語に親しんでもらう事を最優先と考えている。今のところはALTを派遣する考えはない。

### 国際村

**問** 来館者数や施設利用者数が低下している要因は。  
**答** 国際村事務局長 前年度は、地元アイドルの大きなイベント等を行ったが、平成30年度ではなかった。また、イベント数が減っていると考えられる。



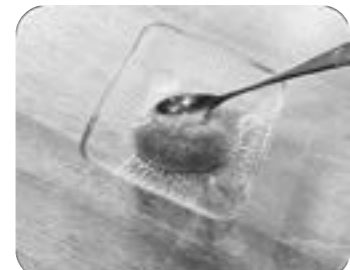
本町自慢の国際村

### 地域ブランド推進

**問** ルバーブの生産者と年間の生産量は。  
**答** 産業課長 現在、生産者が少なく、生産量は微量である。需要と供給のバランスを生産者と町内の飲食店とで調整中である。



今後期待されるルバーブ



簡単にジャムに加工できます



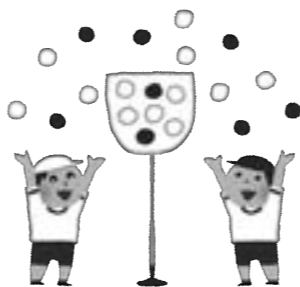
**グローバル人材育成**

**問** 英語検定で4級から5級の補助は考えなかったのか。  
**答** 教育総務課長 当初から3級以上での補助を想定している。3年間はこのまま続けたい。



**小学校・地区民合同  
大運動会**

**問** 平成30年度で2年目になるが担当課の評価は。  
**答** 教育長 ほとんどのケースでやって良かったという意見であった。しかし、来年度へ向けて検討課題もあった。



**男女共同参画**

**問** 男女共同参画社会推進事業への参加者人数が減少しているが、対策は。  
**答** 生涯学習課長 啓発をメインに行っており、今後も同様に努めていきたい。



**フックスタート事業**

**問** 平成29年度は、ブラザー工業株式会社の支援で行っていたが、平成30年度も同社からの支援か。  
**答** 生涯学習課長 令和7年度まではブラザー工業株式会社からの支援で行う。

**チャレンジデー2018**

**問** チャレンジデー2018の参加人数は8911人となっている。今後も継続する事業なのか。  
**答** 生涯学習課長 平成30年度で終了である。10年間行ない目的は達成されたと考えている。

**アクアリーナ**

**問** アクアリーナの利用人数が減少している。事業効果はあったのか。  
**答** 生涯学習課長 事業効果が低下したとは考えていない。新しい企画を取り入れており、1日あたり320人の利用がある。ほどよい利用人数と考えている。



多くの会員募集中

**野外活動センター**

**問** 劣化している相撲場やキャンプ場は改修工事になぜ含まなかったのか。  
**答** 生涯学習課長 今回は、応急仮設住宅の解体に伴い実施したもので、改修の範囲ではなかった。



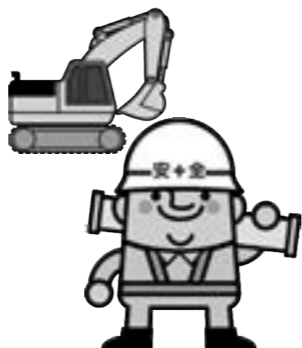
屋根がさびた相撲場



老朽化したかまど

**配水管整備事業**

**問** 配水管整備で、早急な対応が必要と判断し行なっている場所は。  
**答** 施設係長 東宮浜小田地区の老朽管工事は早目の計画を立てている。



**町ウェブサイト**

**問** 更新されていない箇所もある。更新時期の基準は。  
**答** 政策課長 各担当課の判断で更新している。途絶えている課には更新を行うよう伝える。



**ふるさと納税推進事業**

**問** 返礼品は、もつと本町特産の品物を送るべきではないか。  
**答** 政策課長 思うように地場産品の開発が進んでおらず、平成30年度は、本町で加工している「仙台牛の切り落とし」や「宮城野ポーク」等を加えた。また、ふさわしいものが見つかつた場合は積極的に生産者等と交渉したい。

**ぐるりんこ**

**問** ぐるりんこの速度をデジタルタコメーター等で確認し管理しているのか。  
**答** 政策課長 速度が出ているという苦情があつた場合は、どこで見たのかをまず確認し、ドライブレコーダーで場所と速度が出過ぎている場合は強く指導している。



安全運行をお願いします

**敬老会事業**

**問** 高齢者の人数は増加しているが、敬老会への出席率が低下している要因は。  
**答** 健康増進課長 高齢のため外出を控えている方が増えているとも考えられる。



**精神保健事業**

**問** 心の健康づくりや自殺予防に関する普及事業のパンフレットを配付する健康づくり推進委員等の人数が減少した理由は。  
**答** 健康増進課長 地域活動で配付される部分が多い。配付物の数や参加者人数に連動するため、数字上の変動があると考えている。

**東日本大震災被災者  
こころの支援事業**

**問** 被災者健康調査つづき・多量飲酒のハイリスク者訪問事業の実施人数が減少している理由は。また、改善されたと理解して良いのか。  
**答** 健康増進課長 東北大に協力をいただいております。必要と判断される方が徐々に減少したと考えており、改善傾向が見られる。

**がん検診事業**

**問** がん検診の受診率が低下した要因は。  
**答** 健康増進課長 年々健康づくりに対する認識が高まり、近年は積極的に個人で人間ドックを受ける方が増えていると考えている。





各種会計決算額

会計名	収入	支出	差引額	採決の結果
一般会計	116億346万円	109億4985万円	6億5361万円	賛成11:反対2
下水道事業	7億3652万円	7億2170万円	1482万円	
国民健康保険	21億6191万円	21億2648万円	3543万円	
介護保険	17億1077万円	16億5360万円	5717万円	
後期高齢者医療	1億8785万円	1億8316万円	469万円	
公園墓地事業	1646万円	1599万円	47万円	全員賛成
水道事業会計	収益的 <sup>*1</sup> 5億9922万円 資本的 <sup>*2</sup> 1億5546万円	5億4633万円 2億9163万円	5289万円 ▲1億3617万円 <sup>*3</sup>	賛成11:反対2



\*1 収益的…経営に伴い、発生が予想される収入と費用  
 \*2 資本的…将来に備えて行う建設改良等の支出とその財源となる収入  
 \*3 不足分は積立金(留保資金)などで補てん

財源構造

区分	平成30年度	平成29年度	県平均 (平成30年度)	説明
財政力指数	0.59	0.59	0.63	自主財源で賄える運営経費の基準指数。大きいほど財源に余裕がある。
経常収支比率	97.3%	100.3%	96.8%	人件費などの必要経費の割合。比率が低いほど、財政に弾力性がある。
経常一般財源比率	100.9%	98.3%	90.9%	歳入構造の弾力性を表した指標。100を超えると余裕がある。

健全化4指標

区分	平成30年度	平成29年度	県平均 (平成30年度)	説明
実質赤字比率 15.00% <sup>*1</sup>	なし	なし	なし	普通会計(一般会計と公園墓地会計)の実質的な赤字を示す割合。
連結実質赤字比率 20.00% <sup>*1</sup>	なし	なし	なし	公営企業などを含む全会計に占める赤字の割合。
実質公債費比率 25.0% <sup>*1</sup>	0.7%	1.6%	13.6%	自治体の収入に対する借金返済額の割合。
将来負担比率 350.0% <sup>*1</sup>	なし	なし	164.6%	将来にわたる実質的負債「借金」の割合。

\*1 早期健全化基準の指標です。1つでも超えると歳入増加や歳出削減などの財政健全化計画を策定しなければなりません。

監査の意見

代表監査委員 遠藤均さん

一般会計の決算規模は、前年と比較するとやや上昇しており、東日本大震災前の平成22年度と比較すると歳入が2倍、歳出も2倍に増加している。今後の財政運営は、引き続き東日本大震災関連の予算編成となることから、復旧復興に向けた中長期的な展望のもと、経常経費の抑制と点検を行い、限られた財源を重点的、効率的な配分と計画的な事務事業の推進を望む。

また、この度の審査において、項目により不用額も多く、さらには不用額が支出済額を大きく上回っている。今後は不測の事態に備えるもの以外について、適切な予算の計上および執行を望む。



討論



…なので反対します

…なので賛成します

一般会計

反対 歌川 渡

次の点で反対する。  
 ①一部において町条例や要綱に照らした事業が行われていない。  
 ②これ以上の環境汚染をさせないためにも、石炭火力仙石ハワースターションの稼働中止を求める。  
 ③町営住宅入居に係る単身者の年齢制限を廃止すること。  
 ④児童生徒の登下校時の安全確保に必要な横断歩道や防犯灯等を設置すべきである。  
 ⑤被災された住民や事業者の負担軽減のために、基金を年次的に取り崩すべきである。

賛成 渡邊 淳  
 次の点で賛成する。  
 ①復興事業も完遂に近づき、被災者の生活も平常時同様の落ち着きが見え始めていること。  
 ②震災関連の交付金はあるものの、自主財源の法人税および町民税等が向上しており、安定した税収が見込めるようになった。  
 ③児童・生徒の教育環境向上のために、小中学校にエアコンを設置したこと。  
 ④七ヶ浜中学校の柔剣道場屋根改修工事および国際村のエントラスホール改修等を計画的に実施していること。

下水道事業

反対 歌川 渡

資本費平準化債の活用で、償還額の軽減を、いまだ町民に還元していない。負担軽減に充当すべきである。

賛成 安倍敏彦

施設の老朽化等による施設管理のため、長寿命化計画に基づき、汚水ポンプ場等の改修工事等を実施している。

国民健康保険

反対 歌川 渡

過大な基金積立ては行うべきではない。計画的取り崩しを行い国保税を引き下げるべきである。

賛成 熊谷明美

少子化対策として、特定不妊治療助成事業や里帰り出産時予防接種事業を導入し、医療費適正化に努めている。

介護保険

反対 歌川 渡

介護認定度の状態が重度化の傾向にある。国に対し、利用制限を撤回し、利用者世帯の生活状況に応じたサービスを講じるべきである。

賛成 佐藤 壮一

保険給付費で居宅介護サービスや地域密着型介護サービス等、町民のための支援をしている。

後期高齢者医療

反対 歌川 渡

この制度は、少子高齢化が進むほど高齢者の保険料の負担が増える。国に対し同制度の早急な廃止を求めるべきである。

賛成 仁田秀和

本町は、運営主体である県広域連合と連携し、被保険者が必要な医療を安心して受けることができるよう十分な取り組みがなされている。

水道事業会計

反対 歌川 渡

水道管布設事業費は、起債が認められている。新たな建設改良積立を行うべきではない。また、現金預金を計画的に取り崩し使用料金を引き下げるべきである。

賛成 佐藤 衛

人口減少や重油流出事故により海苔の生産中止で給水収益が減少したが、高料金対策補助により黒字となった。また、資金不足比率も算出されておらず、良好な経営状態と認められる。

※公園墓地は反対なく全会致で可決



# 議案審議

## 来年4月から 留守家庭児童保育館が 指定管理に

### 条例改正

●留守家庭児童保育館設置及び管理に関する条例の一部改正

内容

留守家庭児童保育館の管理を指定管理者に移行するため所要の改正および、名称を「放課後児童クラブ」とするものです。

### 質疑

**問** 保護者の意見や事前説明は。

**答** 地域福祉課長 議会承認後に説明する。また、サービスは変わらない。

**問** まつかぜ分館の休止に伴い、利用できない人がいるのでは。

**答** 本館で十分対応できると想定している。

**問** 支援員不足にならないための対策は。

**答** サービス低下とならないよう業者と調整する。

### 討論

**反対** 歌川 渡

児童福祉法に照りして、児童福祉の放棄をすることにはかならない。指定管理者制度によって事業者の管理業務に係る新たな人件費や利益が生じることから反対する。

### 賛成

佐藤 衛

令和2年度から会計年度任用職員制度の導入により、現行方式の支援員の直接雇用ができなくなることから、新たな運用方式のメリットやデメリット等を検討した結果、指定管理が望ましいとのことで賛成する。

採決の結果  
賛成多数で可決



来年から休止になるまつかぜ分館

●特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部改正

内容

令和元年10月から実施される幼児教育・保育の無償化に係る特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準の改正に伴い、所要の改正を行うものです。

### 質疑

**問** 副食などの提供金額が決まっているのか。

**答** 地域福祉課長 月額4500円が上限である。

### 討論

**反対** 歌川 渡

多くの国民および子育て世代の方々が求めているのは、経済的負担の軽減としての保育の無償化ではないか。すべての子どもに無償化を求める立場から反対する。

### 賛成

佐藤 衛

改正の主な内容は「支給認定」を「教育・保育給付認定」に改めるものなど文言の修正であり賛成とする。

採決の結果  
賛成多数で可決



元気いっぱいな子どもたち

### ●保育所条例の一部改正

内容

令和元年10月から実施される幼児教育・保育の無償化に伴い、保育条例規定の所要の改正を行うものです。

### 質疑

**問** 町長が定める額の保育料は。

**答** 地域福祉課長 月額4500円である。

### 討論

**反対** 歌川 渡

特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部改正の反対討論と同じ主旨であるから反対する。

### 賛成

佐藤 衛

特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部改正と同じ内容であるため賛成とする。

採決の結果  
賛成多数で可決

### 条例改正

●留守家庭児童保育館設置及び管理に関する条例の一部改正

内容

留守家庭児童保育館の管理を指定管理者に移行するため所要の改正および、名称を「放課後児童クラブ」とするものです。

### 質疑

**問** 保護者の意見や事前説明は。

**答** 地域福祉課長 議会承認後に説明する。また、サービスは変わらない。

**問** まつかぜ分館の休止に伴い、利用できない人がいるのでは。

**答** 本館で十分対応できると想定している。

**問** 支援員不足にならないための対策は。

**答** サービス低下とならないよう業者と調整する。

### 討論

**反対** 歌川 渡

児童福祉法に照りして、児童福祉の放棄をすることにはかならない。指定管理者制度によって事業者の管理業務に係る新たな人件費や利益が生じることから反対する。

### 賛成

佐藤 衛

令和2年度から会計年度任用職員制度の導入により、現行方式の支援員の直接雇用ができなくなることから、新たな運用方式のメリットやデメリット等を検討した結果、指定管理が望ましいとのことで賛成する。

採決の結果  
賛成多数で可決



来年から休止になるまつかぜ分館

●特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部改正

内容

令和元年10月から実施される幼児教育・保育の無償化に係る特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準の改正に伴い、所要の改正を行うものです。

### 質疑

**問** 副食などの提供金額が決まっているのか。

**答** 地域福祉課長 月額4500円が上限である。

### 討論

**反対** 歌川 渡

多くの国民および子育て世代の方々が求めているのは、経済的負担の軽減としての保育の無償化ではないか。すべての子どもに無償化を求める立場から反対する。

### 賛成

佐藤 衛

改正の主な内容は「支給認定」を「教育・保育給付認定」に改めるものなど文言の修正であり賛成とする。

採決の結果  
賛成多数で可決

### 条例制定

●がん患者支援基金条例の制定

内容

がん患者の療養生活に係る支援に資するため、地方自治法に基づきがん患者支援基金を設置するものです。

### 質疑

**問** 町民の方からの寄付と聞いたが、基金の具体的な利用内容は。

**答** 健康増進課長 今後検討する。

**問** 企業や団体から募金や支援金を募り、基金を継続していく考えは。

**答** 現時点では考えてはいない。

●農業委員候補者評価委員会条例の制定

内容

農業委員候補者評価委員会を地方自治法の規定による附属機関とするために制定するものです。

### ●区長会条例の制定

内容

区長会を地方自治法の規定による附属機関とするために条例制定するものです。

### 質疑

**問** 区長会を35人以内として組織するとのことだが詳細は。

**答** 総務課長 詳細はこれから策定する。

●会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

内容

地方公務員法および地方自治法の改正に伴い、令和2年4月から開始される制度に対応するため条例を制定するものです。

採決の結果(4議案)  
反対なく全会一致で可決

### 条例廃止

●交通安全指導員条例の廃止

内容

地方公務員法および地方自治法の改正に伴い、令和2年4月から交通安全指導員が特別職要件を満たさなくなることから条例を廃止するものです。

### 質疑

**問** 要件が満たされなくなった団体の対応や協力体制は。

**答** 総務課長 任意団体として継続させ、補助金を出す。また、町関係のイベントは謝金で対応する。

採決の結果  
反対なく全会一致で可決





# 補正予算

## 長須賀多目的広場の 用地買収へ予算を計上

令和元年度一般会計補正予算（第2号）は、歳入歳出にそれぞれ6億8330万円を追加し、総額を82億8440万円としました。  
主なものは、平成30年度決算に伴う財政調整基金積立金等への追加や長須賀多目的広場整備事業および七ヶ浜中学校防球ネット設置工事などです。  
本議案は反対なく原案のとおり可決しました。

**笹山高台住宅団地分譲の国費返還金  
377万円**



分譲が完了した笹山団地

**長須賀多目的広場整備事業  
用地買収費 1億2452万円**



いよいよ始まる菅蒲田浜背後地の整備

**七ヶ浜中学校防球ネット設置工事  
850万円**



いつだってフルスイング出来るように！  
（議会だより140号P10参照）

**救助工具セットを購入  
270万円**



町内消防分団11箇所に配備されます

### 財産の取得

内容  
長須賀多目的広場整備のため、用地を取得するものです。

### 水道事業会計

●平成30年度未処分利益  
剰余金の処分

取得財産  
土地 5727㎡  
取得額 13086万円  
相手方 最上 みぎぞん  
（仙台市太白区）

採決の結果  
反対なく全会一致で可決

### 公の施設

●公の施設を多賀城市の住民の利用に供すること

内容  
健全な管理運営を図るため、蓮沼苑を広域的に使用させるものです。



健全な管理運営が図られる

### 字の区域変更

●字の区域を変更すること（花洲浜地区）

内容  
仙塩広域都市計画事業（花洲浜地区、代ヶ崎浜B地区）被災市街地復興土地区画整理事業花洲浜地区の施行に伴い、字の区域を変更するものです。



区画整理が完了した代ヶ崎浜B地区

●字の区域を変更すること（代ヶ崎浜B地区）

内容  
仙塩広域都市計画事業被災市街地復興土地区画整理事業代ヶ崎浜B地区の施行に伴い、字の区域を変更するものです。

### 人事

任期満了に伴い、議会の同意を得て任命されます。

**副町長（再任）**

平山 良一さん  
（汐見台南）



任期  
令和元年10月1日から  
4年間

**教育委員（新任）**

我妻 典夫さん  
（汐見台南）



任期  
令和元年10月1日から  
4年間

**教育長（再任）**

武田 光彦さん  
（汐見台）



任期  
令和元年10月1日から  
4年間

**固定資産評価  
審査委員（再任）**

星 清輝さん  
（松ヶ浜）



任期  
令和元年10月1日から  
3年間





ズバリ

町政を問う

一般質問一覧表

9月定例会の一般質問は、8日と9日に行い8人が活発な議論を展開しました。内容は質問者の原稿を原文に近い形で16~23ページに掲載しています。なお、タイトルは通告のとおりです。

熊谷 明美 ..... 16ページ

- 交通安全対策の強化を
利用者に配慮した国際村駐車場の整備促進とイベント時の交通対策を

仁田 秀和 ..... 17ページ

- SDGs (持続可能な開発目標) の取り組みについて
仙台港重油流出事故の救済対策について

佐藤 壮一 ..... 18ページ

- 津波を想定した漁業者の避難訓練の実施について
急な坂道に手すりの設置について

木村 稔 ..... 19ページ

- 非課税世帯への福祉灯油助成 (燃料助成含む) について
松ヶ浜の須賀ノ浜の背後地と松ノ川集会所跡地について
子ども医療費助成制度の所得制限の撤廃について

遠藤 喜二 ..... 20ページ

- 町営住宅の管理委託について
表浜海浜公園の活用について

歌川 渡 ..... 21ページ

- 水道料金の引き下げについて
町営住宅に安心して住み続けられるために
水道の民営化の問題点について

佐藤 直美 ..... 22ページ

- 亦楽小学校体育館修繕・建替えについて
プリマス交流事業について

渡邊 淳 ..... 23ページ

- 包括協定について
令和元年度、長須賀多目的広場ほかの整備事業の今後について
国土強靱化地域計画策定について

※傍聴される方には、一般質問の要旨が記載された資料を配布しております。

第3回定例会 提出議案採決結果一覧 (9/26~10/9)



9月定例会では、人事や条例制定および改正や財産の取得、補正予算等の議案を審議しました。賛否が分かれた案件は採決一覧表に、全会一致の案件は名称のみ掲載しました。なお、議案名は略して記載しています。

●賛否が分かれた議案等等

Table with columns for proposal name, page number,赞成 (賛成), 反対 (反対), 議決結果 (議決結果), and individual council members (佐藤直美, 小林倫明, etc.).

○賛成 ●反対 議長(岡崎正憲)は採決に加わらない。

●全会一致の議案等

Table with columns for proposal name and page number, listing items like 区長条例, 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例, etc.

Table with columns for personnel-related items (人事関係) and page number, listing items like 副町長の選任, 教育長の任命, etc.

Table with columns for supplementary budget items (補正予算) and page number, listing items like 令和元年度一般会計補正予算(第2号), etc.







仁田 秀和

# 次期総合計画にSDGs(持続可能な開発目標)を導入せよ

## 町長 計画策定の過程で組み入れていきたい

**問** 震災から8年7か月が経過し、本町においては2020年を目標とした復興計画もまだまだ課題は山積しているが、完遂間近となっている。さらに、まち長期総合計画の期間は2011年から2020年となっており、そこで、次期長期総合計画の策定にあたり、国連で採択され、政府も必要性を推奨している「持続可能な開発目標」SDGsを取り入れる考えはないか。

**答** 町長 SDGsで掲げた目標を総合計画に反映することは、否定するものではないと思っ

**問** 健康増進計画や地域福祉計画で積極的に取り組んでいる。健康寿命の延伸と心身ともに健康でお互いを支えあう、助け合うことの出来るまちづくりを今後も推進していく。

**問** ゴール3「すべての人に健康と福祉を」に対して町長の考えは。

**答** 健康増進計画や地域福祉計画で積極的に取り組んでいる。健康寿命の延伸と心身ともに健康でお互いを支えあう、助け合うことの出来るまちづくりを今後も推進していく。

**問** ゴール6「安全な水とトイレを」に対して、計画策定の過程で組み入れていきたいと考えている。

**答** 地域防災計画で規定規模などにより万全とは言いえない状況も想定されることから、国の推進策を注視しながら、自助、共助、公助による自立的な最善の対策が取れるよう今後も務めていきたい。

**問** ゴール6「安全な水とトイレを」に対して、計画策定の過程で組み入れていきたいと考えている。

**答** 地域防災計画で規定規模などにより万全とは言いえない状況も想定されることから、国の推進策を注視しながら、自助、共助、公助による自立的な最善の対策が取れるよう今後も務めていきたい。

**問** 海洋プラスチックごみなどによる追加的な汚染をゼロにまで削減する考えは。

**答** プラスチックごみの回収や適正処理として、「3R」をこみ分別パンフレットや広報等での周知をしている。また、環境美化推進委員によるパトロールや監視カメラ、看板等を設置し不法投棄を未然に防止する対策を講じている。陸域での回収の取り組みは、海に流出する前にクリーンサポータープログラムにより回収している。



熊谷 明美

# 通学路と町全体の交通安全対策は

## 町長 プログラムに基づき安全確保を図っている

**問** 子供たちを巻き込んだ痛ましい事故が立て続けに発生している。本町は、このような事故が起こらないように、通学路や町全体の交通安全点検を実施しているのか。

**答** 町長 通学路安全プログラムに基づき、合同点検を実施し安全確保を図っている。また、建設課で毎月パトロールしている。

**問** 学校周辺の横断歩道や各所の急カーブ、下り坂などでスピードを出して走行している車を見かける。注意喚起の対応策として「通学路」「減速」「横断歩道注意」等、路面表示を設置する考えはないか。

**答** 道路の白線や路面表示はプログラムに基づき整備をしている。横断歩道や停止線、止まれる標識は警察と協議が必要である。

**問** 県道の消えかかっている路側帯や自転車通行帯の整備を県に要望する考えはないか。

**答** 総務課長 場所の指定はしていないが、その都度要望している。



「横断歩道注意」の路面表示を

# 国際村駐車場の整備は

## 町長 整備したい

**問** 国際村はイベントやコンサート、講演会等で、町内外から多くの人々が来館する。現在の駐車場は白線が消え1台を止める幅が狭い。幅を拡げて白線を引き直す考えはないか。

**答** 町長 利用者からの声も寄せられていることから幅を拡げて白線を引き直す。



駐車しやすいように整備を

**問** 駐車しやすいように車止めを設置する考えはないか。

**答** 場所によって植栽に車体が当たるとの恐れがあることから、点検し判断する。

**問** 大きなイベント時の駐車場不足を解消する方法として、シャトルバス運行や町民バスぐるりんの増便を考えているか。

**答** 来館者が多いイベントには、ぐるりんの臨時便を運行し対応している。まずはぐるりんのPRに努めたい。

**問** 障がい者用駐車場と内科的疾患や妊産婦等も利用できる、おもいやり駐車場を増設し、看板と路面表示を設置する考えはないか。

**問** 障がい者用駐車場と内科的疾患や妊産婦等も利用できる、おもいやり駐車場を増設し、看板と路面表示を設置する考えはないか。

**ひとロメモ**

SDGsとは

サステイナブル開発目標(SDGs)は、2015年9月の国連サミットで採択されたもので、貧困や格差の解消、健康福祉の推進、経済成長や住み続けられるまちづくりなどの国連加盟国が2016年から2030年の達成を目指す国際的な目標であり、170人の目標とその目標を達成するために定められた169のターゲットで構成されている。

**町長** 要望内容等が分かった時点で検討したい

**問** 9月2日に知事が「安全宣言」を出した。これには、皆さん安堵したことと思われる。しかし、陸上採曲にかかる経費や生産再開を目指すノリ養殖業者への支援は今後も必要であると思っがどうか。

**答** 町長 県漁協から県に対して支援の要望があったと聞いているが、どのような要望の内容なのか、まだ具体的な情報が入ってきていない。要望内容や事業費、県の考えなど、内容が具体的に分かる

**問** 流通業者等への情報発信のための更なるPRが必要だと思っが。

**答** 町のホームページ等SNSでの発信や11月10日開催予定の町産業まつりでのPRを考えている。その際、開会式で町海城でのノリの安全宣言や新ノリをその場であぶつて食べてもらうなどの案がある。漁協七ヶ浜支所や商工会と協議して進めていきたい。





さとう そういち 佐藤 壮一

# 津波を想定した漁業者の避難訓練の実施を

## 町長 県漁協と相談し協議する

**問** 30年以内に大地震や津波の発生が予想される。漁業者が、漁場から陸までどのように避難するのか。

防潮堤は高くなり遠隔操作で扉の開閉をするようだが、特に高齢の漁業者を避難誘導するには、漁協と協力連携しながら避難訓練が必要と思われるがどうか。

**答** 町長 予測では、宮城県沖でのマグニチュード(M)7からM7.5で、発生する確率は90%となっている。津波や強い揺れに備えが必要だと警告している。

津波警報が発令され、漁場から陸までどのように避難するかは、ベテラン漁師であれば判断がつくと思うが、漁協では津波の規模や漁場との距離

などで避難する対応はさまざまであり、避難ルールは設けていない。特に漁船のルールは「漁業者の判断」で行うというのが漁協の見解である。

**問** 高齢の漁業従事者の避難訓練は、

**答** 漁業者や漁協からは要望は出ていないが、地区の防災訓練は津波を想定しており、メニューに加えて参加するのも一つではないかと考える。漁協に避難訓練の必要性を含め協議していく。



避難訓練をして安全対策を

# 急な坂道に手すりの設置は

## 町長 区長と相談したい

**問** 避難誘導マニュアルの作成は、

**問** 高齢者にとって急な坂道を歩くことは大変で、特に荷物を持った時は見るに堪えない。1人でも多くの高齢者に安心安全で住みやすい町を目指すため、手すりの設置を望む。

**答** 町長 町内に坂道が多いのは承知している。急な坂道は高齢者ならずとも誰しもが大変である。各地区の要望に基づき、予算や現地の道路状況、安全面などを含め判断していきたい。



高齢者のために手すりがほしい

# 子ども医療費助成制度の所得制限の撤廃を

## 町長 広域として要望を出している

**問** 現在、所得制限があるため、助成対象外になっている子どもは保護者から、所得制限撤廃を求める声は大きい。本町としてどのように受け止めているのか。また、県内35市町村中、子ども医療費助成の所得制限を撤廃している自治体は23市町と約3分の2を占めている。本町でも子どもの命を守るため、助成制度の所得制限を撤廃する考えはないか。

**答** 町長 子ども医療費助成制度の所得超過により、助成対象外になっている児童は、約22%である。支給停止世帯が助成制度を受けたいと考える点は十分に認識している。しかし、助成の目的は「子どもの適正な医療機会の確保および子育て世帯の経済的軽減」であり、ある程度の所得があ

る世帯への助成は想定していない。また、本町としては、国や県の保険制度見直しの中で議論されるべき案件だと考えている。子育て世帯を支援する観点から国や県に対し、補助対象の拡充を引き続き要望していく。

**問** 助成制度対象外の所得だけを見ているから問題である。可処分所得であれば、子ども医療費助成制度の対象者と生活水準が反転し、何のための制度か分らなくなる。また、助成制度対象外の保護者も応分の税負担をしており、住民サービスも平等に律で行うべきだと考えるが。

**答** 国や県としては、各自治体で行えるという事になればそこまで高上げを行う必要がないということになる。恒久的財源と考えた場合、小さな町としては将来的に徐々に重い負担になる。だからこそ、市町村が協議して広域として要望を出している。

木村議員の所属する党の皆さんに、ぜひ頑張つて

### ひとロメモ

**可処分所得とは**  
給与やボーナス等の個人所得から、税金や社会保険等を引いた残りの手取り収入。  
**恒久的財源とは**  
永久に不変である財源。  
**ナショナルミニマムとは**  
国家が国民に対して保障する生活の最低限度。

# 松ヶ浜地区防災林造成事業の管理は

## 町長 県より管理計画は示されていない

**問** 県事業である松ヶ浜地区海岸防災林造成事業の、今後の管理計画は、県からどのように示されているのか。

**答** 町長 今までは県より管理計画は示されていない。改めて県に確認した結果、現場の状況を見ながら実施しているとのことである。また、管理上の要望等があれば、県または、町を通して連絡していただきたいとのことである。



密集した松

※その他にもこんな質問をしました。「福祉灯油助成(燃料助成含む)について」





うたがわ わたる 歌 川 渡

# 受水費用の減額に伴う水道料金の引き下げは充分可能

## 町長 引き下げは慎重に判断したい

**問** 県と来年度から5カ年の受水料金の契約更新の時期となっている。引き下げの改正額は示されているが、基本料金と使用料金の改正額は、現行との比較減額は。

**答** 町長 基本料金は基本水量1立方メートル、月額1050円が817円になり233円の減額。使用料金は給水量1立方メートル、54円が42円になり12円の減額。

**問** 現年度と比較し、年間受水費用の支出減額は。

**答** 試算で約5千万円程度の減額を見込んでいる。

**問** 2010年度、2015年度の過去二度の契約更新においても減額改正している。各改正後の年間受水費用減額は。



えんどう よしじ 遠 藤 喜 二

# 町営住宅へ清掃用外水栓の設置を 県内でも設置は少ない

**問** 町営住宅外部の清掃や草刈りは定期的に入居民が行っているが、建設して4年になるRCの建物の、特に北側の通路やアプローチのカビがこびり付き、コケのようになっている。町営住宅へ清掃用外水栓設置の考えは。

**答** 町長 本町の災害公営住宅に共用の外水栓はなく、県内の災害公営住宅や一般公営住宅でも少ない。本町で設置しなかつた理由は、外水栓の管理などである。使用料は入居者の共益費で賄うことになる。管理を区長や班長に委託する場合は負担も考慮しなければいけない。



カビがこびりつきコケのようになっている

**問** ゴミを出す住民のモラルもあるが、ゴミ出しの際に悪臭のする生ゴミを水を切らずに出す方がおり、悪臭と床への汚れが取れないので水道が必要ではないか。

**答** ゴミ集積所の汚れやカビは、ゴミ出しに際し、利用者同士で周知や対応してほしい。

**問** RC造りの町営集合住宅を、町民に管理委託は任せられないか。公営住宅法で公営住宅の管理は事業主体である町か、町に代わって住宅供給公社と規定されている。県住宅供給公社では住宅の修繕等を町内業者に発注しており地元還元もしている。

**問** 2010年度は前年度比、2161万4780円の減額。2015年度は2492万3385円の減額。

**答** 2010年度は前年度比、3万8173円。うち現金預金額は7億3456万3503円。2018年度は流動資産額18億5029万6273円。うち現金預金額は17億2206万1000円。

**問** 2010年度、2018年度の流動資産と流動負債における現金預金額の比較額は。

**答** 2010年度の流動資産額は7億4182万円、流動負債額は3億1000万円。

**問** 受水費用の減額に伴い、水道料金の引き下げは充分可能か。引き下げる考えは。

**答** 町長 18年度の流動資産と流動負債における現金預金額の比較額は、2010年度の流動資産額は7億4182万円、流動負債額は3億1000万円。

**問** 個別に対応したい

**答** 町長 周知した入居者世帯数は、25件である。

**問** 周知した入居者からの問い合わせ件数は、10件程度である。

**問** 全対象者が申請できるよう、地区避難所および集会所で申請に係る説明・手続きの機会を設ける考えは。

**答** 町長 10件程度なので、個別での対応と考えている。

# 家賃減免対象者には 丁寧な説明・手続きの機会を設けよ

**町長** 個別に対応したい

**問** 周知した入居者世帯数は。

**答** 町長 25件である。

**問** 周知した入居者からの問い合わせ件数は、10件程度である。

**問** 全対象者が申請できるよう、地区避難所および集会所で申請に係る説明・手続きの機会を設ける考えは。

**答** 町長 10件程度なので、個別での対応と考えている。

**問** 表浜を海浜公園として現状維持していくのか。

**答** 町長 表浜は、背後地の市街地における津波被害の軽減を図る津波防災緑地として、現状のまま管理する。

**問** 有料のオートキャンプ場やテニスコート、フットサルコート、ドッグランにする考えはないか。

**答** 野球場など計画に際して案を出したが認められなかった。あくまでも津波防災緑地である。

**問** 民間で管理する事はできると思つたが、町としての考えは。

**答** 官民連携による管理運営は県内外で事例がある。パークPFIや指定管理者制度による管理が主なものである。

**問** 次回「減額になる」かは確認できないと説明されている。今回引き下げる考えは。

**答** 町長 「宮城県が広域企業としての責務を果たしながらも民間の力を最大限活用してコスト削減を図ることを目的とし、持続可能な事業運営を確立するため」と理解したのか。また、民間による公的資産の投資先になるのでは。

**町長** 県の説明は理解したが、賛成したというところではない。また、県所有の資産であるため回答は控えたい。

**問** 町長 県の説明は理解したが、賛成したというところではない。また、県所有の資産であるため回答は控えたい。

**問** 9月末まで「宮城県上下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）実施方針素案」に対するパブリックコメントを行っているが、これに県民に周知したと理解しているのか。

**答** パブリックコメントに関する規定が不明なため、回答は控えさせていただきます。

**問** 知事は11月の県議会に条例を提案しようとしている。関係市町村および県議会での説明や議論が不十分であり、拙速すぎると思わないか。

**答** 同連絡会として、県に対し引き続き明確な回答を求めている。

# 表浜海浜公園の活用は 現状のまま管理する



民間による管理は



# セガサミーとの 包括協定の目的は 町長 多面的な情報を期待する



あつし 渡辺 わたなべ

**問** セガサミーホールディングス株式会社と包括協定を結んだ目的は何か。町長 地方創生に掛かる包括連携協定を6月に結んだ。震災から8年が経過し、本町は新たなステージに入っている。大きく変化する地域の課題解決には、行政だけの対応ではなく民間の力が必要と考えた。

**答** 町長 地方創生に掛かる包括連携協定を6月に結んだ。震災から8年が経過し、本町は新たなステージに入っている。大きく変化する地域の課題解決には、行政だけの対応ではなく民間の力が必要と考えた。

**問** セガサミーホールディングス株式会社と包括協定を結んだ目的は何か。町長 地方創生に掛かる包括連携協定を6月に結んだ。震災から8年が経過し、本町は新たなステージに入っている。大きく変化する地域の課題解決には、行政だけの対応ではなく民間の力が必要と考えた。

**答** 町長 地方創生に掛かる包括連携協定を6月に結んだ。震災から8年が経過し、本町は新たなステージに入っている。大きく変化する地域の課題解決には、行政だけの対応ではなく民間の力が必要と考えた。



な お み 藤 佐 さと

## 亦楽小学校体育館 トイレの建替えを

### 教育長

### 改修の方向で 検討している

**問** 亦楽小学校体育館のトイレは老朽化が著しい。建替えをする考えはあるのか。

**答** 教育長 体育館は昭和40年10月に完成した。体育館のトイレは別棟で、昭和44年3月に完成しており、いずれも築50年を経過している。体育館は、大規模改修工事を含む二度の改修工事と平成17年度には耐震補強工事を実施し、更に、トイレも改修工事や修繕を繰り返しながら維持管理に努めてきた。トイレは、主に学校開放利用団体が使用しているが、その中には児童生徒も含まれている。安全を優先する観点から、簡易的な改修の方向ですでに検討に入っている。

**問** 簡易的な改修とは具体的にどのような内容か。

**答** 教育総務課長 解体をせずに和便器を洋式に換えたり、男子トイレの小便器も壊れている部分もあるので、換える方向で考えている。

**問** 改修の時期はいつ頃になるのか。

**答** 現在は改修の予算がないので、今後調整してからの実施になる。おそらく来年度になるのではないかと考えている。



壊れて水漏れする男子トイレ



建替えが必要な体育館トイレ

**問** 姉妹都市プリマスとの交流事業に関して、青少年訪問団は夏季休暇中に来町しているが、グローバル人材育成プログラムへの推進にあたり、児童生徒同士の交流が不可欠である。学期中に受入をし学校内での交流の場を設けることは可能か。

**答** 町長 学期中に受入を受けることは可能である。これまでも7月中旬の受入れを打診していたが、スケジュールが合わずかなわなかった。実現できれば、小中学校の授業をプリマス町の児童生徒と一緒に受けたり、プリマスの先生方が授業をしたりと、まさにグローバルな内容へと広がると共に、さまざまな面で可能性が広がるかと考えている。

**問** 近年、プリマスへの長期留学をしている学生はいないが、以前は実績がある。プリマス町の高校への留学ができるよう、長期留学プログラムを設立する考えは。

**答** グローバル人材育成の推進にあたり、留学はその国の言語、文化や習慣を実際に肌で感じ体験できる絶好の機会でもあり、いずれはプログラムに組み込むべきものと考えている。今後プログラムの設立に向けて、プリマス町での受け入れ体制をはじめ、留学の期間や諸手続き、費用負担等の課題を整理して、プリマス町と調整していく考えである。

## プリマス青少年訪問団 の学期中の受入れを 調整できれば可能である

### 町長

## 民間の資金調達による 整備事業の今後は

### 町長 現段階では考えていない

**問** 本年3月の一般質問の答弁に、地方創生交付金と民間資金の調達を質問した。交付金や民間開発資金についてあらゆる可能性をもって進めると回答された。平成28年に設けられた、地方創生推進交付金制度の公募に、町はどう取り組んだのか。

**答** 町長 設計中の多目的広場は、スポーツやマルシェなどの交流イベントなどを想定し、配備は令和2年度中に完成する。

**問** 長須賀多目的広場では、先導的事業計画はないが、地方創生推進交付金の活用は今後の検討の一つとする。

**答** 町長 地方創生推進交付金は、民間参画もある。町の促進策の中に、民間活用は考えられないか。

**答** 政策課長 地方再生制度に基づく交付金で一定の基準がある。進めていく中で可能性があれば活用したい。

**問** 民間の資金調達も含め、法人づくりの必要性があると思う。地域再生協議会の団体作りもその一つと思うが、その促進策はあったか。

**答** 長須賀多目的広場では、復興交付金市街地復興効果促進事業により整備するもので、民間資金調達は想定していない。また、多目的広場の利用的な目的としているため、地域再生協議会を組織することは現段階では考えていない。

**ひとロメ**

**ソサエティ5とは**

仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムで、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会である。

**SGDSとは**

17ページ参照

※その他にもこんな質問をしました。  
「国土強靱化地域計画策定について」





# 議会報告・懇談会を 開催します



開催日	時間	会場	対象地区	班	班編成
11月30日 (土)	午前 10:00~11:30	遠山地区避難所	遠山	1班	1班  ・歌川 渡 ・渡邊 淳 ・遠藤喜二 ・仁田秀和  2班  ・佐藤梶信 ・佐藤壮一 ・熊谷明美 ・小林倫明  3班  ・遠藤久和 ・安倍敏彦 ・木村 稔 ・佐藤直美
		境山公民分館	境山	2班	
		湊浜地区避難所	湊浜	3班	
	午後 1:30~ 3:00	要害・御林地区避難所	御林	1班	
		汐見台南第2集会所	汐見台南	2班	
		汐見台第2公民分館	汐見台	3班	
	午後 3:30~ 5:00	要害・御林地区避難所	要害	1班	
		松ヶ浜地区避難所	松ヶ浜	2班	
		亦楽公民分館	亦楽	3班	
12月1日 (日)	午前 10:00~11:30	代ヶ崎浜地区避難所	代ヶ崎浜	1班	
		花洲浜地区避難所	花洲浜	2班	
		笹山地区避難所	笹山	3班	
	午後 1:30~ 3:00	吉田浜コミュニティセンター	吉田浜	1班	
		東宮浜地区交流センター	東宮浜	2班	
		菖蒲田浜地区避難所	菖蒲田浜	3班	

※議会日よりNo.141と広報しちがはま11月号をご持参願います。  
対象地区以外の方でも受け付けますので、都合の良い会場にお越しください。



今年5月に開催された議会報告・懇談会の様子  
多くのご参加をお待ちしております

# 小・中学校にエアコン設置!! 予算 2億412万円



## 平成29年3月定例会

**問** 近年、地球温暖化の影響により、長時間、学校の教室で学ぶ子どもたちはいつ熱中症になっても不思議ではない。子どもたちに快適な環境で学ばせるためにも、全校にエアコンを設置する考えはないか。

**答** 一部の特別教室には設置しているが、普通教室では窓を開けたりして対応している。以上の事から現在は考えていないが、学校修繕や計画等を考慮し、必要性を検討して行きたい。



## 平成30年9月定例会

**問** 今年度、文部科学省では54年ぶりに学校教室における温度の基準を改定した。この夏のような猛暑(危険な暑さ)は今年に限ったことではなく、近年明らかに上昇している。エアコン設置に関してどのような認識か。

**答** 本町も夏休み以前から高い気温が続いた事から、その必要性を検討した。また、国からの補助金を今年8月初旬に要望しており、できるだけ早く進めたいと考えている。



## 平成30年12月定例会

**問** 9月の一般質問では、設置する方向との答弁であったが、どのような優先順位で設置するのか。また、決断は。

**答** エアコン設置の決断はしている。設置の優先順位は普通教室からで、特別教室や学校別の優先順位は調査中である。児童生徒の健康を守るため早期完了を目指す。



## 教育民生常任委員会

平成30年6月定例会以降に教育民生常任委員会で、「学校の安全対策」として小・中学校へのエアコンの必要性を調査しました。



今年7月に小・中学校にエアコンが設置されました!





# 委員会レポート これも議会の仕事です

議案は、議員全員で審議したり調査するのが理想ですが、議会で取り上げる内容は複雑で範囲也多岐にわたっており、質疑などで多くの時間が必要になります。そのためいくつかの委員会を設置して、調査を専門的に分担して行うのが委員会活動です。今回、その構成メンバーが決まり、調査事項が決定しましたので紹介します。

## 議会運営委員会

議会運営委員会の役割は、議会の円滑な運営と議長との諮問機関です。また、他の常任委員会と同様に、調査権や審査権もあり多面的な役割を担っています。当委員会には、重要な責任と権限がありますので、その権限を厳格さと協調性をもって町民の負託に答えたいと考えております。

通年議会は来年1月に施行されますが、まだ整備されなければならぬ環境にあります。また、各議員が、混乱が生じないようスムーズな議会運営のため、全委員が生懸命努めてまいります。住民に信頼される議会、責任ある議会になるよう、日々努力してまいります。



前列右より  
歌川 渡  
◎渡邊 衛  
◎佐藤 淳  
後列右より  
仁田 秀和  
安倍 敏彦  
佐藤 梶信

## 総務産業常任委員会

担当する課

総務課、政策課、復興推進課、財政課、税務課、会計課、産業課、建設課、水道事業所の所管に属する事項並びにその他の委員会の所管に属さない事項を担当します。

9月定例会以降における

閉会中の調査事項

「地域交通対策について」



◎委員長  
◎副委員長  
前列右より  
◎熊谷 明美  
◎佐藤 壮一  
歌川 渡  
後列右より  
遠藤 喜一  
佐藤 衛  
小林 倫明  
佐藤 梶信

## 教育民生常任委員会

担当する課

町民課、地域福祉課、健康増進課、環境生活課、国際村および教育委員会の所管に属する事項を担当します。

9月定例会以降における

閉会中の調査事項

「留守家庭児童保育館の運営について」



前列右より  
◎遠藤 久和  
◎渡邊 淳  
安倍 敏彦  
後列右より  
佐藤 直美  
木村 稔  
仁田 秀和

## 広報広聴常任委員会（広報分科会・広聴分科会）

【広報分科会】

昨年の6月定例会で、新たに広報広聴常任委員会を設置し、議会だよりを発行する広報分科会と議会報告・懇談会を開催する広聴分科会の2つの部門としました。広報分科会では、議会の活動状況をお知らせし、議会に関心を持っていただけるように、今までで

【広聴分科会】

新メンバーによる第一回会議では、議会報告懇談会の方針が話し合われ、現況の内容で継続することになりました。開催地区や班の割り振り等を決定し、行事等を勘案して日程調整いたしました。多くの方々のご参加をお願いいたします。



分科会の様子



前列右より  
◎佐藤 衛  
岡崎 正憲  
（発行責任者）  
◎遠藤 久和  
後列右より  
木村 稔  
小林 倫明  
佐藤 直美  
熊谷 明美  
仁田 秀和



前列右より  
◎遠藤 久和  
◎佐藤 衛  
渡邊 淳  
後列右より  
遠藤 喜一  
佐藤 壮一  
安倍 敏彦  
歌川 渡  
佐藤 梶信



